



東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

「あいさつの力」

副校長 岡元 大輔

約1ヶ月の夏休みが終わり、松林小学校に子供たちの声が戻ってきました。今年の夏は、2年ぶりに行動制限がなかったものの、新型コロナウイルス感染症の感染者数が過去最高となるなど、改めて感染症対策の難しさについて考えさせられました。

さて、令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症の流行により、それまで当たり前だった「人と会う。」「一緒に遊ぶ。談笑する。会食する。」「大勢で集まって音楽やスポーツを楽しむ。」といった人と人とのコミュニケーションに制限が掛かる状況が続きました。現在は徐々に緩和されてきているとはいえ、マスク越しで表情が見えない中での会話や、行動に気を付けながらの遊びなど、思う存分友人と関わったり、自身のリフレッシュをしたりすることが難しい状況が続いています。子供たちの様子を見ても、給食での黙食や、遊ぶ時の距離感など、コロナ禍以前と比べると、密接な関わりが難しい状況です。

このような状況下で怖いのが、人と人との関係性が希薄になり、孤独感や無力感が強まってしまうことです。コロナ禍の状況が長期間になっている今こそ、あいさつや何気ない会話、意識した声掛けといったコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。

特に、あいさつは毎日、何度も行う会話ですので、大切にしていきたいと思います。先日行われた、第104回全国高等学校野球選手権大会に沖縄県代表として出場していた興南高校の我喜屋 優監督（現在は同校の理事長・校長も兼務）があいさつの大切さについて次のように書いています。

「あいさつの“あい”は心を開いて相手に投げかけること。“さつ”は同じく心を開いて受け入れ、答えを返すこと。あいさつというのは思ってることを伝え、伝えられたことをまた誠意をもって返すという意味なの。これはキャッチボールと一緒。相手が反応してくれなかったらあいさつにはならない。よくあいさつをしっかりと行うけど、“あい”と“さつ”は違うんだから、“あい”をしっかりとって、返す“さつ”もしっかりしろと言わないといけない。『オーライ』と『任せた』、『足速いぞ』と『OK』、『バントあるぞ』と『OK』というのも全部あいさつなの。そして“あい”と“さつ”は全部違う。野手同士がボールを追って落球したとき、『お前らあいさつがなってない』って怒る指導者はいないでしょ。でも、僕はそう思うよ。声かけは言葉のやりとりだから。」
(「非常識」甲子園連覇監督に学ぶ 勝ち続ける強いチームの作り方 我喜屋優・田尻賢著) より

「おはよう」や「ありがとう」といった言葉だけでなく、「大丈夫」「楽しいね」「いいよ」「ちょっと待って」といった短い何気ない言葉も全てあいさつです。これらの、相手を意識したあいさつ一つ一つが子供たち同士や、子供と大人をつなぎ、絆が結ばれていく。日々のあいさつが、コロナ禍で疲労している人々の心を癒し、元気付けていく。そのように考えると、あいさつがとても大切だと改めて考えさせられます。

9月10日からは自殺予防週間です。まずは校内でたくさんのあいさつを響かせ、子供たち同士が絆を深めていくことで、子供たちが前向きに人生を捉え、進んでいける環境をつくっていきたいと思います。

人権の花運動 種まき 7月15日（金）



今年度、松林小学校は「人権の花」運動に取り組んでいます。この運動は、学校に配布された花の種子、球根などを、子供たちが協力し育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的として、多摩西人権擁護委員協議会・大多摩人権擁護委員協議会が行っています。

7月15日（金）に、2年生の児童が種まきを行いました。夏季休業日明けにはかなり育ってきています。今後、花の成長を見守りながら、子供たちが人権について考える機会を設けていきます。

不審者対応避難訓練 7月15日（金）



福生警察署の皆様にご協力いただき、不審者対応避難訓練を行いました。福生警察署の方に犯人役を担当していただき、児童の安全を守るための職員の行動についてご指導いただきました。さすまたの使い方や、施錠の大切さ、役割分担の方法など、いざという時に必要なことばかりでした。

その後、体育館で、もし不審者が学校に来た時にどのように自分の身を守るか等について、全校児童に話をしてくださりました。

お知らせ

8月26日（金）から、まつのこ学級の介助員として廣瀬 啓子さん^{ひろせ けいこ}が着任されました。また、これまで講師・特別支援教育支援員としてお世話になった堅田 優子さん^{かた ゆうこ}が8月31日（水）をもって退職されます。9月1日（木）から、特別支援教育支援員として津江 准子^{つえ じゅんこ}さんが着任されます。

水泳授業



今年度は、2年ぶりに学校のプールを利用して水泳指導を行うことができました。久しぶりの屋外での水泳でしたが、子供たちは思う存分水の中での活動を楽しみました。また、今年は5・6年生が着衣水泳を行うこともできました。服を着て泳ごうとすると、水の抵抗が強くなり、思うように体が動かなくなります。5・6年生は、水難事故の怖さを実感するとともに、自分の命を守るために必要な対応について学ぶことができました。

動物園登校の看板をリニューアルしました



動物園登校の際に使用していた看板が老朽化してきたため、今回、新しい看板にリニューアルしました。新しい看板は、本校用務員の池田健三さんが作成してくださいました。

火・金曜日の動物園登校の際に、動物園の入り口に設置いたします。ぜひご覧ください。

また、夏季休業日明けから、歩道橋が撤去されているため、横断歩道を迂回して通行することになっています。

給食費納入のお願い

給食費は、給食の食材費の購入に使われています。未納があると、必要な食材を購入することができなくなり、子供たちの給食メニューに大きく影響が出てしまいます。給食費の納入は、口座振替となっています。残高が不足していると引落としができません。定期的に銀行残高の確認をしてください。

○給食費 【低学年 3,870 円】 【中学年 4,040 円】 【高学年 4,210 円】

○引落とし日 【9月分→9月26日(月)】 【10月分→10月25日(火)】

※未納の場合、文書、電話、家庭訪問により督促し対応いたします。

引き続き未納ゼロへのご協力をお願いします！